

里いも栽培ごよみ

JAテラル越前

月旬	3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
生育時期																														
管理作業	選別消毒 圃場準備			植え付け			3~4日おきのうね間灌水			害虫防除(アブラムシ・ヨトウムシ・ハダニ)			子ズイキ刈り込み・土寄せ			収穫・出荷・種芋選抜														
番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦																							

① 種芋の準備

良い種芋



悪い種芋



- ・太い芽
- ・芽くぼみ
- ・傷割れ
- ・かき口が赤い

(10a当たり200~250kg準備する。)

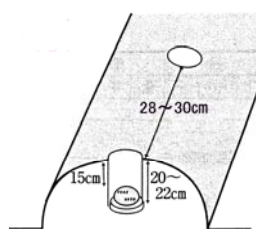
種芋消毒

- ・トップジンM水和剤500倍液に30分浸漬して、2~3日陰干しする。(500倍液 水10%に20g溶かす)

② 圃場準備

- ・芋の品質、肥大が良くなるので、堆肥を必ず施用する。
- ・土が荒いと初期生育が悪くなるので、圃場が良く乾いているときに低速で2回以上耕起する。
- ・品質の良い芋を生産するため35cm以上の高畝にする。

③ 植え付け

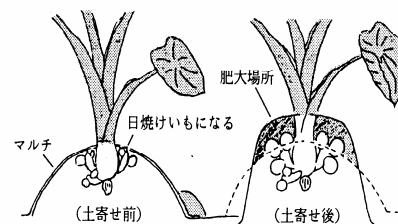


- ・10a当たり2,800株 28~30cmの1条植え
- ・深さ20~22cmの穴を開け、アトマイヤー1粒剤を1gを覆土と混和して植え付ける。
- ・通気性の悪い圃場では覆土を少なくする。

④ うね間灌水

- ・多収には多肥より灌水の効果が高い。
- ・晴天続きには3~4日おきに夕方に灌水する。

⑤ 子ズイキの刈り込



- ・子ズイキは2~3葉期までに刈り込む。
- ・土寄せで子芋・孫芋の肥大する場所をつくる。

⑥ 病虫害防除



黒斑病



乾腐病



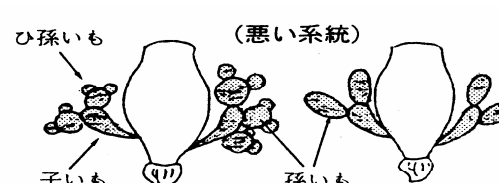
ハスモンヨトウ

⑦ 収穫・出荷・種芋選抜

- ・収穫始めはズイキ1~2本が倒伏しかけた時。
- ・選別出荷日まで期間がある場合は、株のまま納屋に持ち込み出荷前日に取り外す。
- ・良い系統を残し、収量と品質の向上を図る。



種いもの着生多く丸形で大きい



ひ孫いもが着いていると孫いもが長い かき口が多くなる

病虫害防除基準

病虫害名	防除時期	薬剤名	成分数	使用濃度	10a 当り 使用量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数
黒斑病	種芋消毒	トップジンM水	1	200~500倍 30分浸漬		植付前	1
アブラムシ類	植付時	アトマイヤー1粒	1	—	4kg	植付時	1
	生育中	アデオオン乳	1	3000倍	100~200%	7日	5
ハダニ類	生育中	サンマイトアブル	1	1000~1500倍	100~300%	21日	2
カンザワハダニ ハスモンヨトウ	生育中	コテツフロアブル	1	2000倍	100~300%	7日	2
ハスモンヨトウ	生育中	エルサン粉2	1	—	3kg	7日	1
		トレボン乳	1	1000倍	100~200%	14日	3
		ハクサップ水	2	2000倍	100~200%	3日	5
		ラービンアブル	1	750倍	125%	3日	2
コガネムシ類幼虫	生育中	オンコル粒5	1	—	6~9kg	土寄時	1

一般栽培 施肥基準

(kg/10a)

区分	肥料名	黒ボク土	砂壤土	壤土
土改材	堆肥	2,000	2,000	2,000
	パーク炭	100	100	100
	マグエース	200	160	160
	または			
	よ우리ん (ホスピタ)	60 (80)	40 (80)	40 (80)

元肥	「さとこ」を使用する場合			
	さとこ	200	200	180
元肥	「固形30号」を使用する場合			
	固形30号	160	160	60
	そさい5号	50	50	100
追肥	「あさひ」を使用する場合			
	あさひ	120	120	100
	そ菜5号	30	30	35
追肥	そ菜5号	(20)	(20)	(20)